

新型コロナウイルス感染症の拡大による 水道事業経営への影響について ④

令和4年2月検針分（主に12・1月使用分）

用途別の影響

令和4年2月分の検針データを前年（コロナ後）及び前々年（コロナ前）と比較すると、主に家庭用となる20mm以下の口径は、前年度との比較では、それぞれ水量は約28,000 m³、2%、料金は約290万円、2%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約33,000 m³、料金は約300万円の増となりました。

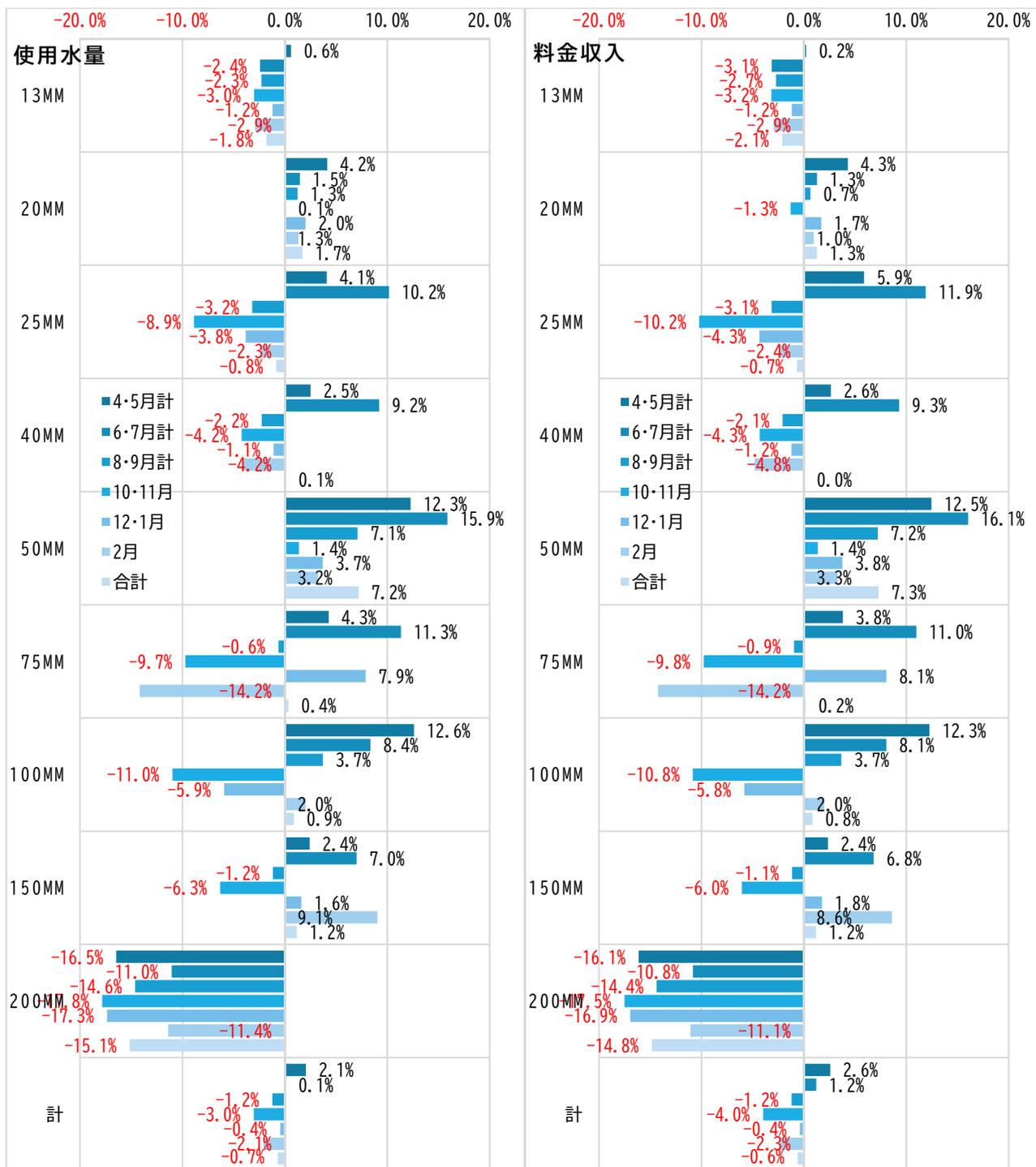
主に業務用となる25mm以上の口径では、前年度との比較では、それぞれ水量は約8,000 m³、3%、料金は約180万円、3%の減となりました。また前々年度との比較では、水量は約20,000 m³、料金は約490万円の減となりました。

全口径の合計は、前年度との比較では、それぞれ水量は約36,000 m³、2%、料金は約470万円、2%の減となり、前々年度との比較では水量は約13,000 m³の増となったものの、料金は約190万円の減となりました。先月検針分は、7月検針以来昨年を上回りましたが、再び減少に転じました。

検針年	区分	2月検針分（12・1月使用分）		
		20mm以下	25mm以上	合計
R1	水量 (m ³)	1,368,169	301,022	1,669,191
	金額(税抜き:円)	132,293,125	68,279,875	200,573,000
	供給単価(円)	96.69	226.83	120.16
R2	水量 (m ³)	1,429,555	288,288	1,717,843
	金額(税抜き:円)	138,220,720	65,163,385	203,384,105
	供給単価(円)	96.69	226.04	118.40
R3	水量 (m ³)	1,401,128	280,760	1,681,888
	金額(税抜き:円)	135,333,365	63,364,165	198,697,530
	供給単価(円)	96.59	225.69	118.14
対R2 増減 (コロナ後 との比較)	水量 (m ³)	-28,427	-7,528	-35,955
	増減率	-1.99%	-2.61%	-2.09%
	金額(税抜き:円)	-2,887,355	-1,799,220	-4,686,575
	増減率	-2.09%	-2.76%	-2.30%
	供給単価(円)	-0.10	-0.35	-0.26
	増減率	-0.10%	-0.15%	-0.22%
対R1 増減 (コロナ前 との比較)	水量 (m ³)	32,959	-20,262	12,697
	増減率	2.41%	-6.73%	0.76%
	金額(税抜き:円)	3,040,240	-4,915,710	-1,875,470
	増減率	2.30%	-7.20%	-0.94%
	供給単価(円)	-0.10	-1.14	-2.02
	増減率	-0.11%	-0.50%	-1.68%

口径別の対前年変動率

口径別の対前年変動率を見ると、使用水量、料金ともに、20mm、50mm、100mm、150mmを除く口径で減となりました。



※料金収入は、減額措置の影響を差し引いています。

考察

先月の検針では、20 mm以下は 8 か月ぶり、25 mm以上は 5 か月ぶりに前年比増となりましたが、ともに再び減少に転じました。コロナ前の一昨年と比較すると、20 mm以下の口径は増えているので、引き続き家庭での需要が多い状況に変わりはありませんが、業務用は回復しておらず、料金収入が伸び悩む原因となっていることがわかります。

今回の検針結果には、第 6 波が始まった 1 月の使用が含まれており、経済活動がコロナ前と同程度に回復した先月とは異なり、再び悪影響が表れているとみることもできます。3 月検針分にはより顕著な影響が表れるとみられ、料金収入が前年度を上回ることは難しくなりそうです。